

株式会社ベリサーブ
+ 2016年3月期 第2四半期累計期間
決算補足説明資料

2015年10月28日

株式会社 **ベリサーブ**

- **エグゼクティブサマリー**
- **決算概要**
- **今期の見通し**
- **トピック**（2015年度上期のサービス関連プレスリリース）

<p>決算概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 売上高、営業利益ともに当初計画を大幅に上回る。 □ 売上高 実績 3,743 百万円 (予想 3,300百万円 443百万円増、+13.4%) □ 営業利益 実績 383 百万円 (予想 290百万円 93百万円増、+32.2%) <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車関連並びにインタープライズアプリ分野での大型案件が、期初計画よりも前倒しで進捗。下期も両分野で大型案件が継続して進行予定。 ● 自動車関連分野での更なるサービス強化のために、11月1日付で「オートモーティブ検証サービス開発部」を新設。
	<ul style="list-style-type: none"> □ 受注状況 □ 受注残高 1,803 百万円 (前期末に比べ497百万円増) <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車関連、インタープライズアプリ分野で大型案件が進行が重なり受注残額が増加。
<p>トピック</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 検証会社からお客様の開発におけるQCD向上パートナーへ <ul style="list-style-type: none"> □ 開発ドキュメント検証サービスのリリースについて(2015年6月) □ 「MVNO SIMカード接続検証サービス」提供開始(2015年6月) □ 日本で初めて「ISTQB Platinum Partner」の認定取得(2015年10月)
<p>通期見込み</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 堅調な業績動向に鑑み、通期業績予想を上方修正。 □ 売上高 予想 7,500 百万円 (従来予想 7,000百万円 500百万円増 +7.1%) □ 営業利益 予想 740 百万円 (従来予想 640百万円 100百万円増 +15.6%)

2016年3月期 第2四半期累計期間決算概要

- 売上高、営業利益ともに当初計画を大幅に上回る。
- 自動車関連並びにエンタープライズアプリ分野での大型案件が、期初計画よりも前倒して進捗。
- その他の分野も順調に推移。

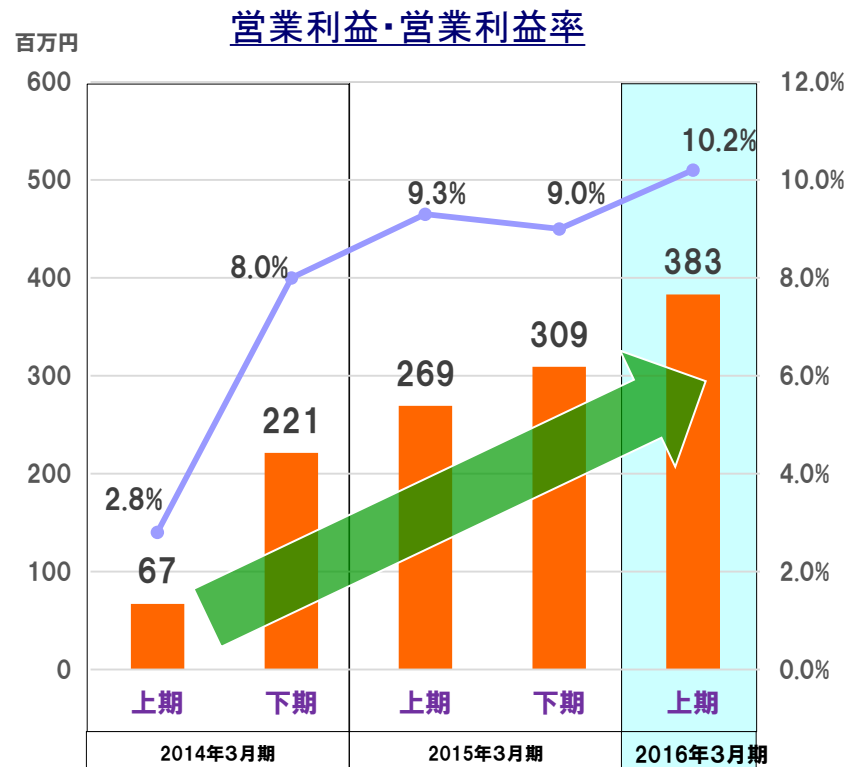
(単位:百万円)	2016年3月期 上半期			
	実績	期初計画		
		計画値	差異	達成率
売上高	3,743	3,300	+443	113.4%
営業利益	383	290	+93	132.2%
経常利益	387	290	+97	133.6%
当期純利益	248	170	+78	146.0%

■ 2014年3月期以降、連続して売上高、営業利益ともに増加傾向

□ 前年同期比較(参考):売上高 23.8%増、営業利益 31.2%増

■ 営業利益率も改善傾向で、10%超を達成。

当期より非連結決算に移行しておりますので、比較は参考値です。

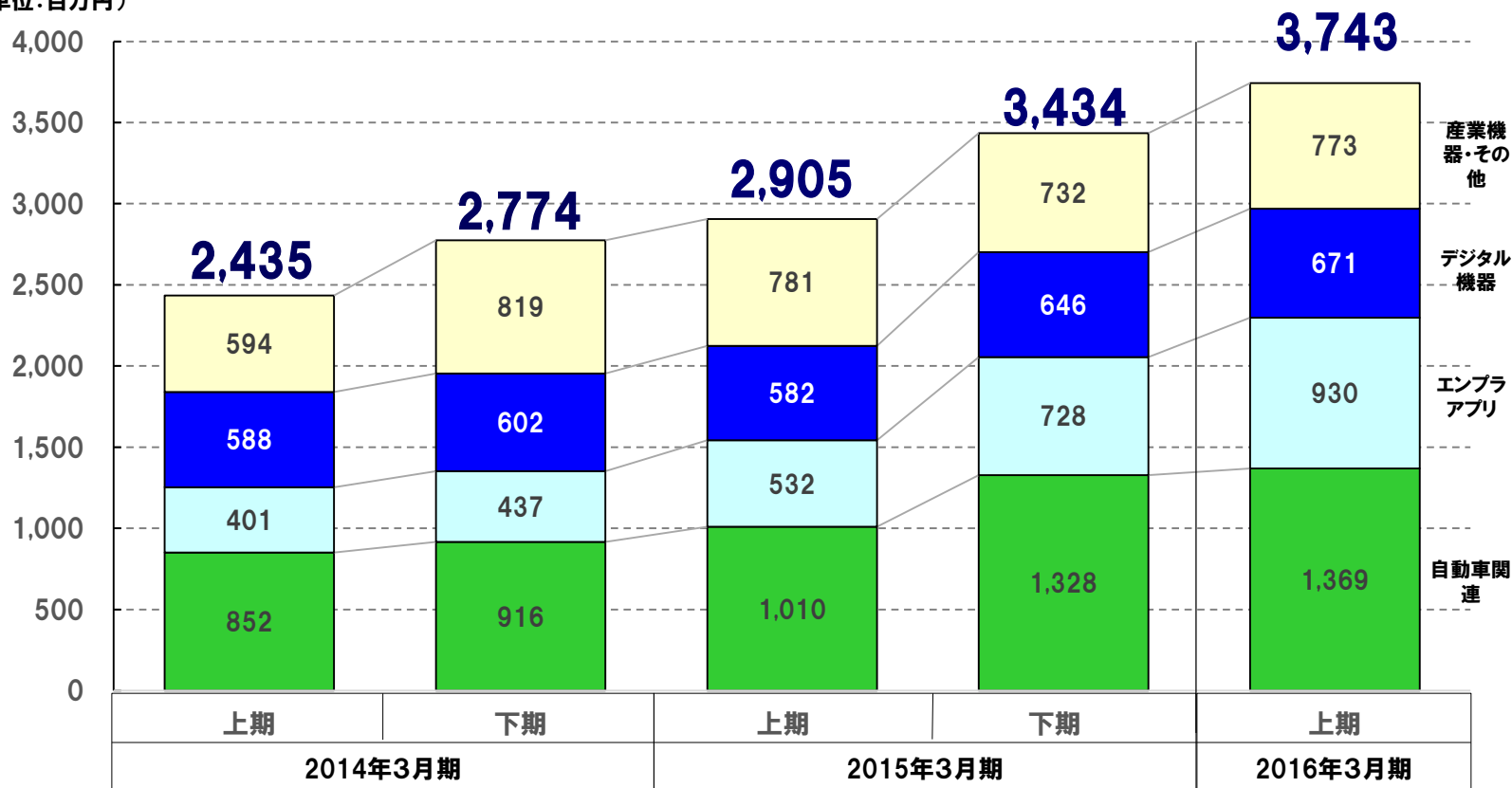


※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。2015年3月期以前につきましては、連結決算の数値を記載しております。

分野別売上高推移

- 自動車分野、エンタープライズ向けアプリケーション分野を重点分野と位置付けており、両分野共に、拡大基調で推移。今期は、両分野で大型案件が進行中。
- 自動車関連分野での更なるサービス強化のために、11月1日付で「オートモーティブ検証サービス開発部」を新設。

(単位:百万円)

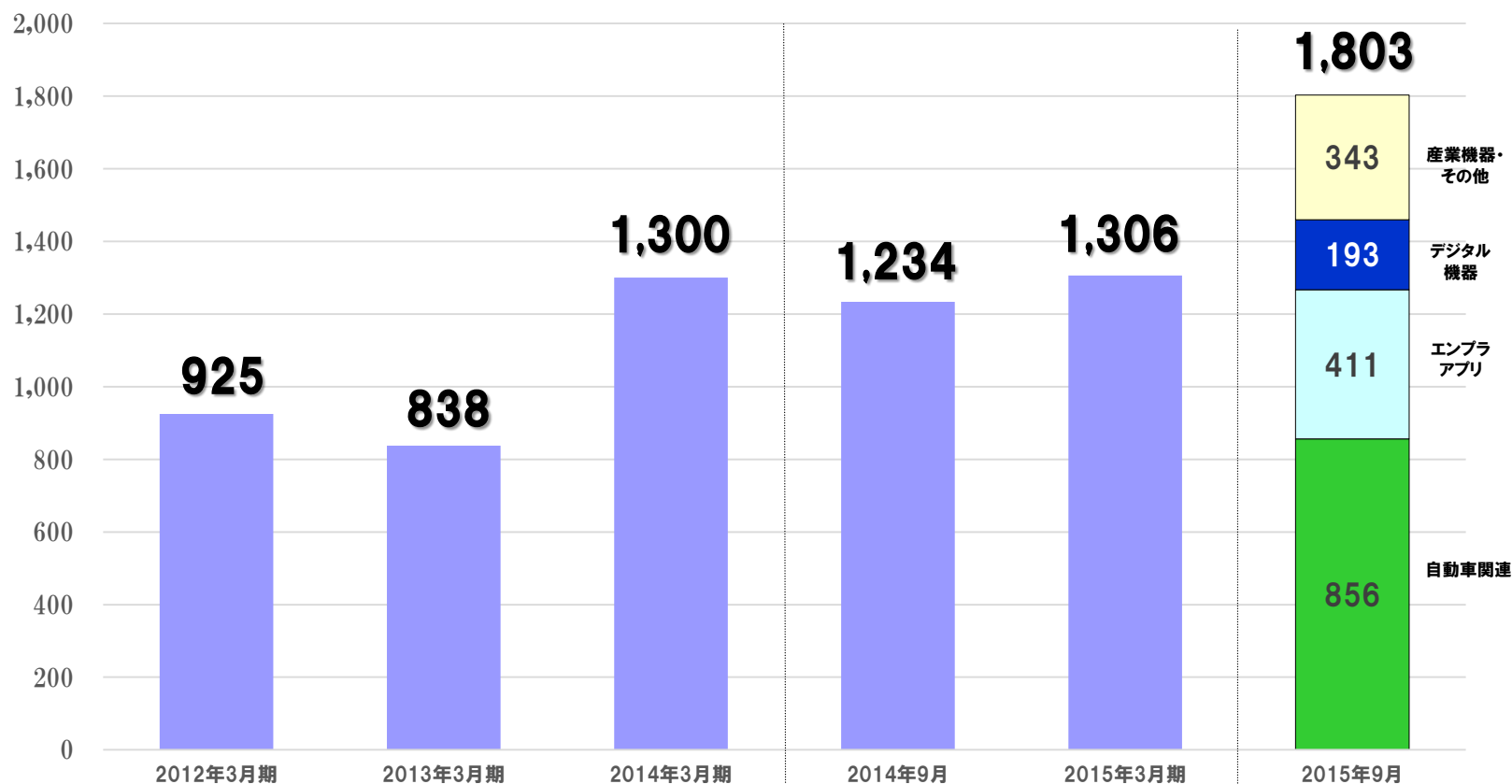


※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。2015年3月期以前につきましては、連結決算の数値を記載しております。

受注残高の状況

- 受注残高 **1,803** 百万円（前期末比 **37.8%**増）
- 自動車関連、エンタープライズアプリ分野で大型案件が重なり、受注残高が増加。

（単位：百万円）

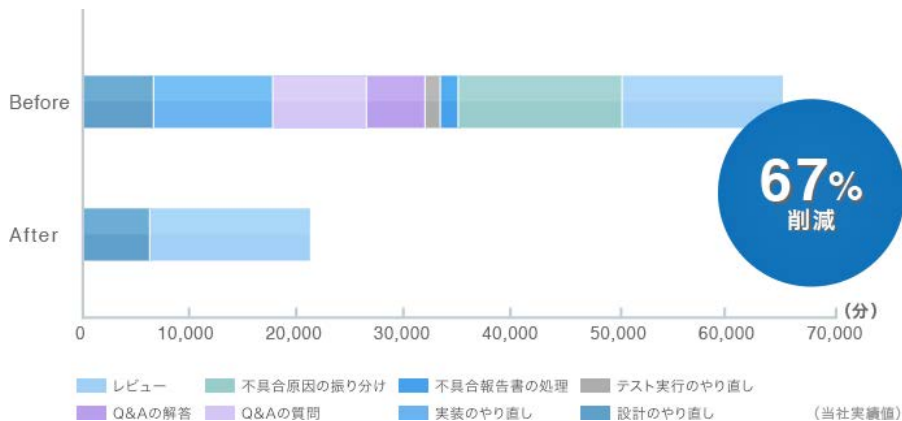


※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。2015年3月期以前につきましては、連結決算の数値を記載しております。

- 堅調な業績動向に鑑み、通期業績予想を上方修正。

	2016年3月期 通期業績予想			
	通期(修正前)		通期(修正後)	修正前 計画比
売上高	7,000 百万円	→	7,500 百万円	7.1%増
前期比(単体)	10.8% 増		18.7% 増	
営業利益	640 百万円	→	740 百万円	15.6%増
前期比(単体)	4.3% 増		20.6% 増	
経常利益	640 百万円	→	750 百万円	17.2%増
前期比(単体)	2.9% 増		20.6% 増	
当期純利益	380 百万円	→	420 百万円	10.5%増
前期比(単体)	9.4% 増		20.9% 増	

■ 開発ドキュメント検証サービスのリリースについて (開発上流工程における品質向上)



◆ 文章で記載された仕様書の曖昧さを解消

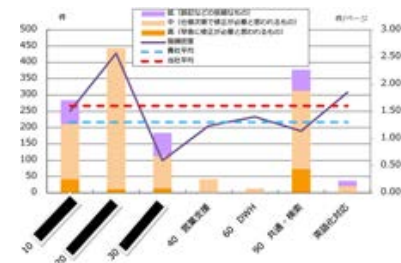
日本語で記述された仕様書の抜け漏れ、矛盾、考慮不足や誤記を検出します。それにより仕様に潜む曖昧性が招く開発者の誤解や不具合の作り込みを未然に防ぐことができます。

◆ 独自ツールとテストエンジニアが高い品質を確保

No.	サブシステム名	ファイル数	シート数	ページ数	指摘件数	指摘密度
10	CCCCC	19	61	189	284	1.50
20	BBBBB	19	61	173	444	2.57
30	EEEE 共通	33	127	309	184	0.60
40	営業支援	9	21	34	42	1.24
60	DWH	2	5	10	14	1.40
90	共通・検索	81	184	332	378	1.14
-	英語化対応	5	14	20	37	1.85
	合計	168	473	1067	1,383	1.30



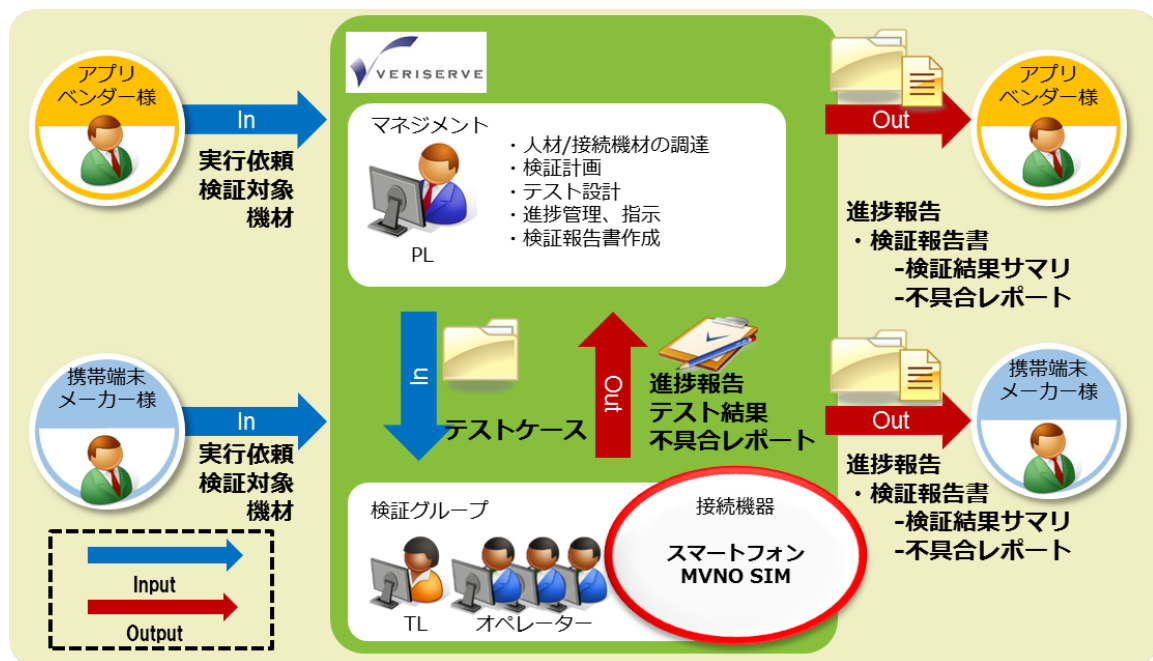
+



独自ツールを利用して、指摘箇所を抽出し、属人化による作業品質のムラを排除します。

高スキルなテストエンジニアによるスクリーニングを行うことで、より効果的な指摘が可能になります。

■ 「MVNO SIMカード接続検証サービス」提供開始



スマートフォンなどのモバイル端末と仮想移動体通信事業者(MVNO)が提供するSIMカードの接続互換性を確認するサービス「MVNO SIMカード接続検証サービス」の提供を6月1日から開始。

各種MVNO SIMカードをスマートフォンなどの検証対象へ装着し接続性検証を実施、その検証結果およびインシデントレポートを提供いたします。

検証項目につきましては、お客様の検証要件をお伺いし、ご要望に沿った検証プランをご提案いたします。

<サービス価格>

基本動作確認(サンプル価格)

10接続 200,000円 ~ (※)

※ 1つのSIMカードと1つのデバイスの組み合わせでの作業を1接続とします。
SIM認識/APN変更/電話発着信/SMS送受信/パケット通信(LTE/3G)/UI確認の簡易動作確認を行った場合の参考料金です。

■ ISTQB Platinum Partner 認定について(2015年10月13日)



当社は、日本で初めて、ISTQB Platinum Partnerに認定されました。

ISTQBのパートナープログラムは、テスト技術者資格認定者の技術を通して、品質技術およびテスト技術の向上に尽力している会社や組織を認定するものです。

※ ISTQBとは、International Software Testing Qualifications Boardの略称で、ソフトウェア・テストに関する国際的な資格認定団体であり、ソフトウェア・テストのプロフェッショナルを認定する資格を設けることで、ソフトウェア・テスト技術者の育成を図ることを目的として創設された団体です。JSTQBは、日本におけるソフトウェアテスト技術者資格認定の運営組織で、各国のテスト技術者認定組織が参加しているISTQB(International Software Testing Qualifications Board)の加盟組織として認定されています。つまり、ISTQBの加盟組織の各国団体は資格および教育・訓練組織認証について相互認証を行っているため、JSTQBが運営するソフトウェアテスト技術者資格は海外でも有効な資格となっています。

< JSTQB認定テスト技術者資格 ISTQBパートナーシッププログラム >

<http://www.jstqb.jp/partnership.html#List>



<免責事項>

本資料は、当社の2016年3月期 第2四半期累計期間決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よってその実現・達成を約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料のいかなる部分も電子的または、機械的な方法を問わず、無断での複製、転送等を行わないようにお願いいたします。